

**1. 授業のねらい・概要**

日本で学び、生活する留学生にとって、日本語の能力はひじょうに重要である。本授業では、日本での学生生活を円滑に進めるため、正確な日本語を使いこなせるようになることをめざす。前期のAでは、日本語の文字・表記および漢字・語句について学ぶ。また、日本の文学・文化に触れる時間（DVD鑑賞など）も設ける。

**2. 授業の進め方**

問題演習を中心に進める。日本語の力をつけるためには、ただ出席するだけでなく、積極的に取り組むことが大切である。各回の授業内容は下記の授業計画によるが、学生の理解度や希望によって一部変更する場合もある。

**3. 授業計画**

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. オリエンテーション       | 9. 漢字の読み—読みが複数あるもの |
| 2. 日本の文学作品に触れる     | 10. 類義語—基礎         |
| 3. 文字と表記—ひらがな・カタカナ | 11. 類義語—応用         |
| 4. 文字と表記—漢字・ローマ字   | 12. 対義語—基礎         |
| 5. 同じ部分をもつ漢字       | 13. 対義語—応用         |
| 6. 見た目が似ている漢字      | 14. 日本語と日本文化       |
| 7. 漢字の読み—動詞        | 15. まとめ            |
| 8. 漢字の読み—名詞・形容詞    |                    |

**4. 到達目標**

日本での学生生活を円滑に進められるよう、日本語の基礎的な知識を身につける。

**5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容**

日本語のテレビやビデオ等を視聴し日本語に親しむ。漢字の読み書きを練習する。

**6. 成績評価の方法・基準**

期末試験を主とし、授業への参加状況を加味して評価する。

**7. テキスト・参考文献**

テキストは使用せず、プリントを配布する。参考文献は必要に応じて授業の中で紹介する。

**8. 受講上の留意事項**

- ・毎時間の学習の積み重ねを重視するので、欠席・遅刻をせず、真剣に取り組むこと。
- ・日本語の辞典を持参すること。電子辞書でもよい。